

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 横浜国立大学附属鎌倉小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒248-0005
 神奈川県鎌倉市雪ノ下3-5-10

E-mail : _____

Website : <http://www.kamakurasho.ynu.ac.jp/>

児童生徒数：男子 322名 女子 319名 合計 641名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域理解と相互の助け合い）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

4月～7月

海に近い鎌倉市において、どのような防災体制が取られ、そこに住む人たちはどのような意識を持って生活しているのか地域を回ってインタビューをすることによって調査してきた。そこから得た情報をもとに、自分たちの意識について改めて話し合いを行い、そこで出た結論をまた地域社会に返した。

「地域とともに生きる鎌倉小学校」のコンセプトを掲げ、人と人がつながるためにはどうしていけばいいのかということ、まず防災を切り口に考えた。

9月～12月

NPO 団体「トランジションタウン鎌倉」の方々にご協力いただいて、鎌倉という町が持つポテンシャル探し「鎌倉あるものさがし」に取り組んできた。そこから、町の人々が意識する「自然と歴史の共存する町づくり」とは何なのかということについて考えてきた。

1月～3月

上記の二つの活動から、「鎌倉の人たちに、自分たちの住む土地の良さを改めて考えてもらい、人と人がつながる町づくりに自分たちも参画しよう。」という目標を児童が掲げた。町を何度も歩き、普段、自分たちが当たり前の風景としてとらえていたものが、色々な人の努力によって形作られているのだということ意識し、そのことを発信することにした。

2月22日をその日に定め、地域の持つ良さを改めて探る学習活動を行い、「自分なりの鎌倉の良さ」を見つけた。発表後、改めてトランジションタウン鎌倉の方々と連携し、3月19日にも「鎌倉新発見」として「地域を見つめなおし、よりよい町づくりを行うための町歩き」を行った。以下は児童の活動後の声である。

・今までは、鎌倉市はただ学校のある場所としてしかとらえていなかったけど、そこには色々な人が生き、つながり、私たちの知らない人も私たちの生活と関係しているのだと実感できた。まだ、私たちの出来ることは小さいことだけれども、美しい町鎌倉を守っていけるように、環境のことなど、色々な事を気にしていきたい。

・自分の住んでいる場所は、鎌倉市ではないけど（本校は広域学区の小学校）、自分の街にも鎌倉と同じように、「町をより良くしていきたい。」と思っている人がいるのだと思う。少なくとも自分はそう思うので、まずは自分に出来ることはどんなことなのか考えていきたい。

本校は、「人とつながり、社会とつながる」をコンセプトに、子どもたち一人一人が問題意識を持って、「より良い社会」を目指そうとする人を育てていくことを目標にしている。来年度も、環境・地域・平和を軸に活動を進めていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）